



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東  
コード番号 9319 URL <https://www.chuosoko.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 正和  
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 山口 治彦 TEL 075-313-6151  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	20,044	3.4	1,475	△12.2	1,733	△12.2	1,155	△13.8
2023年3月期第3四半期	19,382	8.7	1,680	12.6	1,974	18.3	1,341	23.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,056百万円 (22.8%) 2023年3月期第3四半期 1,674百万円 (15.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	60.88	—
2023年3月期第3四半期	70.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	56,123	44,343	78.5
2023年3月期	56,159	42,830	75.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 44,076百万円 2023年3月期 42,566百万円

(注) 当第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期の連結財政状態について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2024年3月期	—	13.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	17.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,750	3.4	1,900	△9.9	2,200	△9.6	1,650	△3.4	86.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	19,064,897株	2023年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	73,116株	2023年3月期	81,530株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	18,987,590株	2023年3月期3Q	18,977,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(企業結合関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

2023年3月31日に行われた株式会社テスパックとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類見直しにより経済活動の回復の動きがみられる一方、地政学的リスクの高まりなどによるエネルギーや原材料価格の上昇が続いていることに加え、中国経済の減速の影響などもあり、先行き不透明な状況が続いております。

物流業界におきましても、このような物価高などの経済情勢の影響を受け、貨物の荷動きは低調となっており、貨物保管残高も減少傾向にあります。加えて、燃料価格の高止まりなどによるコスト増加もあり厳しい経営環境で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは第7次中期経営計画「Let's TRY! 2024」の2年度目として、自ら能動的に行動する「自身にTRY!」、挑戦する風土を創って、分かち合う「組織でTRY!」、社会に応える・つなげる「社会へTRY!」の3つのTRY!に取り組む、施策展開を行っております。

具体的には、滋賀県大津市において新たな物流拠点となる滋賀支店大津営業所を2023年6月に開設し、また、豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社の物流取扱量の拡大に継続して取り組んでおります。加えて、2023年1月に子会社化した株式会社テスパックとのシナジー効果による梱包業のさらなる強化にも注力しております。

併せて、汎用業務の集約を目的とした事務センターの拠点集約を進めるとともに、現場作業のデジタル化、業務の効率化、業務品質の向上に継続して取り組んでおります。さらに、環境に配慮したグリーン経営の推進に取り組むとともに、サステナビリティ基本方針に基づきサステナビリティ委員会及びサステナビリティ推進委員会の活動などを通じ、持続的な成長と企業価値向上を目指し、サステナビリティを巡る課題に具体的に取組んでおります。

また、京都ハンナリーズ(プロバスケットボールチーム)への協賛継続や、2023年7月にSDGs私募債を発行し同年11月に滋賀支店大津営業所近隣の小学校に寄付を贈呈するなど、地域社会との関りを重視した事業運営にも取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、貨物保管残高が高い水準で維持されたことや輸送付随業務等への取り組みなどの効果により20,044百万円(前年同期比3.4%増)となりましたが、営業利益は、新たに子会社となった株式会社テスパックの利益が加わったものの、滋賀支店大津営業所開設に伴う一時費用や減価償却費が増加したことに加え、燃料・動力費の高止まりや貨物保管残高の増加に対応するための外注費用の増加などもあり1,475百万円(前年同期比12.2%減)となりました。また、経常利益は政策保有株式の縮減などによる受取配当金の減少や支払利息が増加したことなどもあり1,733百万円(前年同期比12.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,155百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (国内物流事業)

倉庫業におきましては、貨物入出庫高は荷動きの低下により減少しましたが、料金改定効果や豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社での構内荷役作業の増加などにより、営業収益は増加しました。また、運送業につきましては、倉庫保管貨物に係る輸送の減少を輸送付随業務等への取り組みなどによる保管外貨物輸送の増加がカバーし、国内貨物輸送取扱量は前年同期に比し増加しました。

これらの結果、国内物流事業の営業収益は16,063百万円(前年同期比2.6%増)、セグメント利益は、滋賀支店大津営業所開設に係る費用や再寄託貨物が増加したことによる外注費用などが増加したことから1,660百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

#### (国際貨物事業)

通関業におきましては、取扱数量は、海外の経済情勢や国内市況の影響を受けて、輸出・輸入ともに減少し、営業収益も減少しました。梱包業におきましては、取扱量は新たに子会社となりました株式会社テスパックの取扱高も加わったこともあり前年同期に比し増加しました。

これらの結果、国際貨物事業の営業収益は、株式会社テスパックの損益が加わったことなどから3,858百万円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益は384百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業につきましては、京都梅小路地区宿泊施設の賃貸を開始したことなどに伴い、前連結会計年度より報告セグメントとして区分しております。賃貸不動産物件について、前年同期と変更はありません。

不動産賃貸事業の営業収益は268百万円(前年同期比増減なし)、セグメント利益は新たに費用として固定資産税等が発生したことから115百万円(前年同期比14.0%減)となりました。

なお、物流用途不動産の賃貸につきましては、従来通り国内物流事業セグメントに区分しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ35百万円減の56,123百万円となりました。これは主に、滋賀支店大津営業所建築工事竣工による本資産勘定への振替により固定資産の建物及び構築物が2,227百万円、投資有価証券が評価益の増加により1,282百万円、それぞれ増加しましたが、流動資産の現金及び預金が設備資金や配当金の支払いなどにより1,295百万円、固定資産の建設仮勘定が本資産勘定への振替により2,254百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,548百万円減の11,780百万円となりました。これは主に、固定負債の繰延税金負債が投資有価証券の評価益の増加などにより473百万円、社債が新規発行により100百万円、それぞれ増加しましたが、流動負債の支払手形及び営業未払金が357百万円、未払法人税等が469百万円、短期借入金が100百万円、固定負債の長期借入金が新規借入があったものの返済の進行により254百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,513百万円増の44,343百万円となりました。これは主に、利益剰余金が605百万円、その他有価証券評価差額金が902百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.7ポイント増の78.5%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,286百万円(26.1%)減少し、当第3四半期連結会計期間末には3,636百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は1,441百万円の増加(前年同期は2,690百万円の増加)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,718百万円、減価償却費1,364百万円であります。また、主な減少要因は、前払費用等の増加によるその他の資産の増加196百万円、営業債務の減少357百万円、未払消費税等の減少418百万円、法人税等の支払891百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は1,770百万円の減少(前年同期は2,995百万円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出1,650百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は958百万円の減少(前年同期は376百万円の減少)となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入180百万円、社債の発行による収入100百万円であります。主な減少要因は、長期借入金の返済による支出530百万円、配当金の支払550百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は計画を下回っていることから、2023年5月12日に公表しておりました2024年3月期の連結業績予想を修正しております。連結業績予想の修正につきましては、本日(2024年2月9日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,632,040	7,336,371
受取手形	325,746	333,794
営業未収入金	4,755,076	4,386,951
貯蔵品	35,421	35,746
その他	316,312	562,177
貸倒引当金	△1,054	△847
流動資産合計	14,063,542	12,654,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,644,995	17,872,673
機械装置及び運搬具（純額）	663,498	868,647
土地	12,463,472	12,463,472
リース資産（純額）	787,059	740,957
建設仮勘定	2,265,422	10,867
その他（純額）	125,672	131,907
有形固定資産合計	31,950,121	32,088,525
無形固定資産		
のれん	38,753	34,601
その他	101,773	90,656
無形固定資産合計	140,527	125,258
投資その他の資産		
投資有価証券	9,451,951	10,734,868
繰延税金資産	46,223	22,021
退職給付に係る資産	162,588	170,893
その他	345,554	333,437
貸倒引当金	△1,419	△5,662
投資その他の資産合計	10,004,898	11,255,558
固定資産合計	42,095,546	43,469,342
資産合計	56,159,089	56,123,538

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,897,371	1,540,082
短期借入金	3,070,000	2,970,000
1年内返済予定の長期借入金	698,746	602,442
リース債務	84,335	91,840
未払法人税等	488,179	18,660
賞与引当金	333,463	156,717
役員賞与引当金	41,300	28,500
その他	1,269,520	676,626
流動負債合計	7,882,916	6,084,868
固定負債		
長期借入金	2,698,676	2,444,608
社債	100,000	200,000
リース債務	825,378	766,980
繰延税金負債	1,197,892	1,671,876
退職給付に係る負債	160,547	173,750
その他	463,624	438,152
固定負債合計	5,446,118	5,695,369
負債合計	13,329,035	11,780,237
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	33,755,536	34,361,047
自己株式	△87,008	△78,033
株主資本合計	38,666,630	39,281,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,745,615	4,647,932
為替換算調整勘定	13,601	26,157
退職給付に係る調整累計額	140,896	121,311
その他の包括利益累計額合計	3,900,113	4,795,401
非支配株主持分	263,309	266,784
純資産合計	42,830,053	44,343,300
負債純資産合計	56,159,089	56,123,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	19,382,557	20,044,017
営業原価	17,069,494	17,815,683
営業総利益	2,313,063	2,228,333
販売費及び一般管理費	632,733	752,459
営業利益	1,680,329	1,475,873
営業外収益		
受取利息	63	53
受取配当金	295,608	285,653
社宅使用料	11,681	11,333
持分法による投資利益	19,670	11,781
その他	24,909	19,433
営業外収益合計	351,933	328,256
営業外費用		
支払利息	52,797	62,778
その他	5,405	7,900
営業外費用合計	58,203	70,678
経常利益	1,974,060	1,733,451
特別利益		
固定資産売却益	567	3,273
投資有価証券売却益	—	4,118
特別利益合計	567	7,392
特別損失		
固定資産除却損	1,599	11,014
固定資産売却損	1,520	11,666
特別損失合計	3,120	22,680
税金等調整前四半期純利益	1,971,507	1,718,163
法人税、住民税及び事業税	516,860	434,239
法人税等調整額	99,506	119,964
法人税等合計	616,367	554,203
四半期純利益	1,355,140	1,163,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,024	7,964
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,341,116	1,155,995



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,355,140	1,163,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	326,150	899,086
退職給付に係る調整額	△18,226	△19,584
持分法適用会社に対する持分相当額	11,691	12,555
その他の包括利益合計	319,615	892,057
四半期包括利益	1,674,756	2,056,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,660,851	2,051,282
非支配株主に係る四半期包括利益	13,904	4,734

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,971,507	1,718,163
減価償却費	1,128,037	1,364,931
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	28	4,035
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△144,140	△176,746
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,200	△12,800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△20,087	△23,865
受取利息及び受取配当金	△295,672	△285,707
支払利息	52,797	62,778
持分法による投資損益 (△は益)	△14,214	△11,781
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△4,118
為替差損益 (△は益)	2	△25
固定資産除却損	1,599	11,014
固定資産売却損益 (△は益)	952	8,392
営業債権の増減額 (△は増加)	241,619	360,076
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△989	△325
その他の資産の増減額 (△は増加)	193,292	△196,163
営業債務の増減額 (△は減少)	△193,028	△357,289
未払消費税等の増減額 (△は減少)	329,640	△418,833
その他の負債の増減額 (△は減少)	51,497	55,393
その他	6,420	7,266
小計	3,298,064	2,104,395
利息及び配当金の受取額	296,172	290,712
利息の支払額	△33,601	△61,331
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△870,443	△891,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,690,191	1,441,937
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△7,100
定期預金の払戻による収入	—	16,200
有形固定資産の取得による支出	△2,904,469	△1,650,692
有形固定資産の売却による収入	4,223	12,666
有形固定資産の除却による支出	△85,000	△145,905
投資有価証券の売却による収入	—	10,544
その他	△10,168	△6,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,995,414	△1,770,449
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△10,000	△100,000
長期借入れによる収入	540,000	180,000
長期借入金の返済による支出	△395,625	△530,372
社債の発行による収入	—	100,000
リース債務の返済による支出	△11,344	△55,979
自己株式の取得による支出	△47	△105
配当金の支払額	△497,922	△550,366
非支配株主への配当金の支払額	△1,260	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△376,200	△958,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△681,425	△1,286,568
現金及び現金同等物の期首残高	3,726,026	4,922,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,044,601	3,636,371

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流 事業	国際貨物 事業	不動産賃貸 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる 収益	15,245,340	3,597,496	—	18,842,836	—	18,842,836
その他の収益	271,697	—	268,022	539,720	—	539,720
外部顧客への営業収益	15,517,038	3,597,496	268,022	19,382,557	—	19,382,557
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	146,478	—	—	146,478	△146,478	—
計	15,663,516	3,597,496	268,022	19,529,035	△146,478	19,382,557
セグメント利益	1,778,832	371,463	134,336	2,284,633	△604,303	1,680,329

(注) 1. セグメント利益の調整額△604,303千円には、セグメント間取引消去△12千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△604,290千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内物流 事業	国際貨物 事業	不動産賃貸 事業	計		
営業収益						
顧客との契約から生じる 収益	15,649,797	3,858,120	—	19,507,917	—	19,507,917
その他の収益	268,077	—	268,022	536,100	—	536,100
外部顧客への営業収益	15,917,874	3,858,120	268,022	20,044,017	—	20,044,017
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	145,897	—	—	145,897	△145,897	—
計	16,063,771	3,858,120	268,022	20,189,914	△145,897	20,044,017
セグメント利益	1,660,542	384,525	115,472	2,160,540	△684,666	1,475,873

(注) 1. セグメント利益の調整額△684,666千円には、セグメント間取引消去△106千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△684,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2023年3月31日に行われた株式会社テスパックとの企業結合について、取得原価の配分が完了していなかったため、のれんの金額は暫定的に算出された金額でありましたが、当第3四半期連結会計期間に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、「国際貨物事業」セグメントにおいてのれんの金額を修正しております。

（企業結合等関係）

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2023年3月31日に行われた株式会社テスバックとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額51,918千円は、会計処理の確定により13,165千円減少し、38,753千円となっております。また、無形固定資産のその他（顧客関連資産）20,100千円、固定負債の繰延税金負債6,934千円を新たに識別し、顧客関連資産は13年にわたって均等償却しております。なお、のれんの償却年数7年に変更はありません。また、前連結会計年度末ののれんは13,165千円減少し、無形固定資産のその他（顧客関連資産）は20,100千円、繰延税金負債は6,934千円、それぞれ増加しております。